

無常という変わらない真理

片桐英数塾通信

新たな大きな変化の時代を前に、 今、基本をもう一度確かめよう！

『祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。おこれる人も久しからず。ただ春の夜の夢のごとし。たけき者も遂にはほろびぬ。ひとへに風の前の塵に同じ。』(祇園精舎の鐘の音には、すべてのものは常に変化し、同じところにとどまることはないという響きがある。沙羅双樹の花の色は、盛んな者も必ず衰えるという道理を表している。思いが上がって得意になっている人も、その栄華は長くは続かない。それはちやうど、春の夜の夢のようである。勢いが盛んな者も最終的には滅んでしまう。まったくもって風の前にさらされて散っていく塵と同じである。)

これは平家物語の一節です。無常感にじみ出ています。最近、激変する時代に翻弄される中で、世の無常を感じるものが多くなった気がする私は、

ふと、この有名な出だしを思い出しておりました。

仏教で言われることですが、世の全てものは無常です。全てものは移ろい変わりゆきます。生きていくものは必ず死にます。どんなに繁栄していても、歴史が証明するように、その繁栄が永遠に続くことはありません。悲しいことに、必ずいつかは没落します。今、自分の心臓がトクントクンと動いています。まさに今、トクンと打った鼓動は、その瞬間だけのトクンであって、二度とは戻ってこない鼓動です。心臓の鼓動すら無常です。だから、毎年変わらぬようにやってくる季節というものは無常であり、去年の冬と今年の冬は、冬であることには変わりありませんが、全く別の冬です。ですが、この季節は、毎年同じように冬と呼ばれています。おそろく、この無常というものこそが自然の真理ではないかと思えます。そのような真理を持つ自然を対象化し、規則性、反復性を法則化し、自然に普遍性を与え、それで自然を説明しようとしたのが、西洋思想の始まりと考えて良さを思っています。



一方、昔の日本の思想性は、むしろ西洋のその逆で、自然

を自分と切り離して考えたり、客観的に観察する対象とせず、自分も自然の一部だと考えて自然を捉えていたようです。

その日本的な考え方が西洋的なものにならなくなっていったのはいつからかと言うと、明治維新以降のことです。明治維新以降はとにかく西洋に追いつくことと必死でした。西洋の学問を学ぼうとすれば、必ず英語で学ばなければならぬ。海外から教師を連れてきて、英語で授業を受け、そして西洋の学問を身に付けてきた。

今年、「禅」に興味を持ち、いろいろ本を読んでみました。「禅」というものは、どうやら日本の精神的な中心であると言って良さそうですね。その存在である「禅」を、私はさっぱり知りませんでした。

いや、もしかすると、私だけでなく「禅」というものが何であるかを知っている人は少ないのではないのでしょうか。いや、それでこそ「禅」なのかもしれません……。

「禅とは何か?」これが知りたくて、いろいろと本を読んだ。その本は「禅」というものが、結局、分かったことは「禅」というものは、それが「禅」だと悟った瞬間に消えてしまうもの、うだ」ということです。調べれば調べるほど「禅」は私に解答を与えてくれません。本を読む中でかろうじて得ることのできた答えに近いものは、「これが悟りだと自分で思っても、それを悟ったと思っただけには、世は無常であるだけに、悟った瞬間の悟りは消えてなくなってしまう。悟りを都度永遠に追い求めていくもの」が、どうやら「禅」なのではないかと、自分勝手に納得しています。

「禅」に飽き足らず、今度は東洋思想にも興味を持ちました。もちろん、語れるほどの知識などは無く、説得力は出ないのですが、ただ、東洋思想の深い部分には「禅」に共通するものがあるように感じました。それはとても「禅」に似た考え方だと思

東洋思想と西洋思想を対比した場合、概念についての考え方にその違いがあると思えます。西洋では物事を概念化し抽象化し、言葉を与える。新約聖書のヨハネによる福音書の冒頭にも「はじめに言葉ありき」とあるように、まずは言葉があるという考え方を示しています。一方で、東洋では概念や言葉を取っ払い、まさに今という瞬間の対象に集中するために、邪魔となる概念、言葉をどこまでも取っ払う。「禅」には「不立文字(ふりゆうもんじ)」という言葉があり、この言葉にもそれが表れていると思えます。そして、邪魔となるものを一切捨て去り、一点に集中する中で無になつていく。この無になつた状態を三昧(さんまい)と呼びます。

言葉は物事と物事の間に線を引きます。言葉を与えらるということは「分ける」ということです。物事に言葉を与え、分かちながら発展していくのが西洋的です。一方で、東洋は、言葉を排除し、究極の一点に向かい、さらに無へと向かいまう。より高みへと向かいまうとする思いは同じでも、方向が真逆と言って良いのかもしれない。

実は、こんなややこしいことにも興味をもったのは、「なぜ、ステイプ・ジョブズは禅に傾倒し、追及し、その力を借り、イノベーションを起こせたのかが知りたかった」というのが、そもそもこの勉強の動機でした。

その中で、今さらながらにも少しも東洋思想について触れることができたのは、自分としてはとてもありがたかったです。

日本とは、東洋でありながら西洋的です。だから東西どちらの思想とも大切にしなければならぬと思えます。ですが、気になるのは、今後、グローバル化がさらに強くなるということ。私個人的に思うのは、西に傾き過ぎるバランスが悪いので、東の意識を強めるべきではないだろうかということ。分かりやすく言うと、些末なこと、目の前に集中して物事に取組む中で得られる無の境地が、今の私たちには必要ではないかと思っています。それは鍛錬と呼ばれる、この国に昔からある物事に向かう基本的な姿勢なのかもしれません。

「禅」に興味をもったのは、

中学3年生冬期特別講習
12月1日(火)~1月30日(土)

受験生にとって勝負の冬休みがやってきます。重要事項の見直しを図るとともに、実践演習で入試を意識した応用をつけていきましょう。

★中1・2年生対象冬期講習もあります!

※定員になり次第締め切らせていただきます。
(詳しいスケジュールはホームページをご覧ください)

小6生対象 新中1準備講座

受講生募集中!

中学生で習う内容を先取りするだけでなく、将来伸びる為に必要となる土台作りをサポートします。わからなくてもすぐにあきらめず、じっくり考えるタフな思考力を楽しみながら身につけていきましょう。

教科: 英語・算数・国語
月謝: 7,560円(税込)
開講日: 土曜日16時半~18時半(月4回)

片桐英数塾からのお知らせ

坂本教室・天神教室のお休みは、
12月6日(日)、13日(日)、20日(日)、
27日(日)~1月3日(日)です。

※12月27日~1月3日の通常授業はすべてお休みになります。
中学生冬期特別講習は28日29日も実施いたします。

※12月31日(木)は高3生対象 年納め学習会を行います。通常の自習室の開放はいたしません。

塾スタッフ募集!!

★求める人材 4年制大学卒以上、人と接することが好きな方
★仕事内容 教科指導、電話対応、受付業務、教務補助など
★勤務時間 曜日 月曜日~土曜日
(勤務時間については相談に応じます。)

※面接にて決定致しますので、まずは坂本教室までご連絡ください。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

QRコードからHPにアクセスすることができます。

HPアドレス <http://www.katagirijuku.com>
メールアドレス katagirijuku@docomo.ne.jp

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

